

防災対策に退職自衛官を起用せよ！



平原 嘉徳

防災意識が高まる中、佐賀市の自主防災組織の結成が進んでいない。組織数・組織率・活動状況はどうなっているか。また、全国的に防災危機管理担当職に退職自衛官を起用する自治体が増えているが、次年度から起用する考えはないか。

答弁 自主防災組織は7月末現在で57組織。組織率は市内全世帯の35・8%。活動状況は地域の実情に合わせ避難訓練、消火訓練、炊き出し訓練、防災マップの作成、防災資機材等の整備・点検等の活動を実施。

一方、役員の高齢化や交代により、組織のリーダーの人材不足等が要因となって活動が停止している組織もある。今回のような水害を見るとさらなる訓練が必要

であり、このため防災に関する専門的知識やノウハウを有する人材の活用が必要であると考えている。
◆その他◆大和町福田地区の新工業団地について／教育行政について



第一次総合計画後期基本計画を問う



重松 徹

計画の基本姿勢として、「協働と市民活動の推進」があり、現状として①市民参加の機会確保②市職員の協働への意識調査③職員向け手引書作成の見解④地域コミュニティの推進に不可欠な地域地縁団体等の育成について問う。

答弁 ①市民活動プラザ

でボランティアの希望者と募集団体とをマッチングするほか、ボランティアの募集、各種イベント情報の提供を行い、市民参加の機会確保に努めている②全職員を対象に意識調査を実施する方向で検討する③今は協働事業への職員参加を働きかけたい。その中で手引書が必要となれば検討する④団体の構成員や住民が、地域社会への関心や参画意識を持つことが重要で、啓発に



地域コミュニティ推進事業（ワークショップ）

加え、団体が自立するまで相談等を含めた支援をきめ細かく継続したい。

今後の市道整備のあり方について



山口 弘展

①今年度実施された地元意向調査の要望件数及び前回実施された同調査に基づく実績は②本調査とは別に今後地域から出てくる要望への対応は③生活環境整備という観点からも市道に関する要望は今後重視していくべきと考えるが見解は。

答弁 ①全自治会を7月末の期限で調査し、その時点で251自治会から924件の要望。前回の平成20年度は、要望件数936件中、道路整備評価制度により74件を採択し、全体事業費約6億5百万円で今年度まで順次整備中②期限後提出された要望書も道路整備評価制度と同様に取り扱い、採択した事業の実施時期は、現地の状況や地域の声を聞き適切に判断する③暮らして

いる徐福をテーマとしたシンポジウムなどの催しに佐賀県徐福会が参加される際には、徐福ゆかりの地佐賀をPRしていただいている。市としても、姉妹都市の連雲港市や徐福を通じて交流のある慈恵市での催しに参加する際には、佐賀市の魅力をPRしている。また、佐賀市と徐福のかかわりを伝える中国語版のDVDを製作したが、これを中国徐福会や中国の旅行社、連雲港市、慈恵市など

観光資源を活用し中国へのPRを



西村 嘉宣

佐賀市は米とノリが主な産業だが、価格の低迷と雇用の悪化により、後継者不足となった。このような厳しい経済状況の中、観光の推進を図ることが望まれる。空、水、景色と徐福伝説をテーマにして、中国へPRに向いてはどうか。

答弁 毎年中国で開催さ

れている徐福をテーマとしたシンポジウムなどの催しに佐賀県徐福会が参加される際には、徐福ゆかりの地佐賀をPRしていただいている。市としても、姉妹都市の連雲港市や徐福を通じて交流のある慈恵市での催しに参加する際には、佐賀市の魅力をPRしている。また、佐賀市と徐福のかかわりを伝える中国語版のDVDを製作したが、これを中国徐福会や中国の旅行社、連雲港市、慈恵市など



市役所西玄関の歓迎看板



の安心、交通弱者の安心・安全に関わる予算はしっかりと確保していくよう今後も努力したい。
◆その他◆公共工事人札制度関連について

に送り、広く徐福ゆかりの地佐賀をPRしていきたい。
◆その他◆循環型社会構築について／職員の健康管理について

※2 マルチメディア図書 の取り組みを!



野口 保信

マルチメディアアイジー図書は発達障がいや読みに障がいのある子ども達に有効であると国際的に認められている。市立図書館は全ての市民に平等な施設・ソフト整備を行う使命がある。多くの市民に周知するためにも取り組みを開始しては

答弁 現在マルチメディアアイジー図書は販売されているタイトル数が少なく、まだ実験的な取り組み状況にある。また、一部を除き障がい者にとって必ずしも

利用しやすいものではなく、導入に際しては収集・提供の方針をしっかりと定める必要がある。今後の出版状況を見ながら、利用者にどういった対応が必要なのか、専用の個室を設置する場合はスペースの問題もあるの



マルチメディアアイジー図書の再生画面

で、市立図書館ではどのような対応が可能かなど、導入に関していろいろな調査を行い検討していきたい。
◆その他◆北部中山間地の土砂災害被害軽減対策について/放射線対策について/ほか

「幸福度」日本一 を目指そう!



永瀨 義久

幸福の国ブータンでは国民総幸福GNHを政府が保障すると憲法で定められた。これからの市政では経済発展GNPのみでなく、「市民の総幸福」を増加させる事が重要。法政大のランクでは5位だが、幸福度日本一

を目指し政策を検討しては。
答弁 幸福度は、物質的なものよりも心の豊かさで満たされるもので、そのためには、安心して生活ができる地域に住むことが前提である。ただ、豊かさだけを求めるのではなく、何かのために生きがいを求め、かなえられる社会が幸福度を増す要因になってくる。今、市で実施している地域のコミュニティ等を深めな

がら、地域で協力していきける、あるいは手が足りないところは手を差し伸べるなどお互いに協力し合っているような社会づくりを今後も行っていきたい。
◆その他◆地域FM局をどう生かすか/筑後川フェスティバルと今後の展開について



いじめ対応マニュアル等の統一を!



堤 正之

教育委員会と学校は、いじめ発生に際し、保護者等の信頼を得るよう公平性と透明性をもって対処する必要がある①各学校の対応マニュアルを統一しては②聞き取り書や報告書様式も統

DV防止の啓発と被害者の支援策は



白倉 和子

児童や高齢者虐待との関連が多いDVについて①DVの発生現状と動向は②相談後の具体的支援策は③支援も含め県との連携を密に図るべき④DV対策基本計画策定で庁内連携等どう進めているか⑤DV防止啓発を積極的に行うべきでは。
答弁 ①市民意識調査で女性の3分の1に被害経験があり、全国と同数値であ

一すべき③記録は、保護者の求めに応じ開示すべき。
答弁 ①県から出される手引きに基づき各学校でつくっているが、いじめの捉え方、観察の仕方、対応の問題などはいじめのレベルごとに対応も変わってくる。基本的なものについては各学校1つの大きな流れをつくっていく②聴取のメモは各学校で定めており、それ

に沿って記録し、教育委員会に報告する様式は統一している③聴取した記録に基づき、本人への確認、保護者への事情説明を行っていることから、開示しても問題はない。見せながら説明することはとても大事。
◆その他◆防災対策について

る。県警の22年度DV認知件数は42件増の206件で最多となった②相談者の安全を確保し、相談内容に応じ専門窓口等へつないでいる③県等との連携は重要で、研修等を通じ、情報共有し被害者支援を行っている④庁内の計画策定部会、県の機関、民間団体の意見等を聞き進



「緊急保護」された方々の靴の数々

めていく⑤市民の理解と認識を得るため、広報と講座等の開催及び計画策定後の周知も含めフォーラムも開催したい。
◆その他◆いじめ等の対策/来年度予算編成の考え方

※2 マルチメディアアイジー図書：パソコンを利用し、文字・音声・画像を同時に再生でき、読みの早さや画面上のレイアウトの変更ができる新しいメディアの図書。

9月14日（金）

中学校の部活動中の事故への対応は



千綿 正明

中学校の部活動中に駐車中の車がボールが当たり、保護者が損害を賠償することになった。幸いPTA保険に加入されていて保険から賠償金が出たが、部活動中の損害賠償がどうなっているのかを保護者と先生には告知が必要だと思いが。

答弁 部活動中に第三者に損害を与えたときに、現在加入している保険制度が適用されない場合がある。

今後このような事案が発生することも想定されることから、学校、部活動の担当教諭、保護者に対し十分な周知を図る必要がある。校長会で説明後、各学校で校長から部活動の顧問及び全教職員に説明し協議す

で、資料編さんを急いでほしい。

答弁 資料編さんには民俗学に精通した専門的な先生が不可欠である。そのような人を

探し、意見を聞いたところ、市が実施する場合は協力したいとのことであったが、着手時期は2、3年後になる見込みである。今後、先生の都合や予算的なことも考えながら検討していきたい。

佐賀市は恵比須の数日本一と言われている。恵比須を使った観光開発も進んでいるが、恵比須に関する資料がまとめられていない。今後、恵比須サミット等のイベントや恵比須ギャラリーの設置も考えられるの

る。また、保護者へも年度当初の部活動総会で説明し、さらに各部ごとの保護者会において顧問の教諭から保護者へ周知を行い、協議してもらおう。

◆その他◆農地法、建築基準法の是正指導について／富士中央簡易水道事業について／ほか



女子バスケット



恵比須八十八ヶ所巡りパンフレット

い。一方、先生にお願いするだけでなく、語り部から聞き取ることも非常に重要なことだと思っている。担当者に調査をさせ、事務担当でできるものがあれば少しずつでも行っていきたい。

農業を持続していくための振興策は



久米 勝博

今後の農業を魅力とやりがいのあるものとするため、付加価値の高い持続可能な力強い農業を育てることが必要である。その対策として、集落・地域の中心となる経営体や、将来のあり方などを位置づける「人・農

地プラン」の作成状況は。**答弁** 「人・農地プラン」は、今後の地域農業のあり方や地域の中心となる経営体などを地域の話し合いの中で定めるもので、市内8つの農業再生協議会単位でそれぞれ作成することとしている。現在の旧佐賀市での状況は、生産組合長会議において原案内容の修正・確認を行っており、今後承認のための検討会を予定し

が一緒になって進めていく必要がある。これまでも広域消防局と消防団、そして行政とで様々な検討をしてきたところであるが、今後は、消防団員の負担軽減を図るために導入した支援団員制度の取り組みの強化はもろろんのこと、3者での協議の場を設置し、活動状況の報告やいろいろなアンケート調査を実施したり、松山市での事例（大学生・郵政消防団員）を検討課題とし

地域消防力の向上に知恵を出そう



田中喜久子

消防団員の減少や昼間の動員の困難性等課題は明らか。基本団員の拡充はもろろん、事業所や大学生消防団等機能別の取り組みもあっている。分団や地域の実情調査や課題分析、団員確保のために何をするのか。**答弁** 消防は、基本的には、常備消防と非常備消防

て、消防力の強化を図っていききたい。

◆その他◆健康診査事業について／九州ご当地グルメフェアについて



女性消防団員によるポンプ操法



ている。ほかの地域でも、実情に応じて各協議会の連携を図りながら、年内に策定する予定である。

森林の癒し効果で
地域活性化を!



池田 正弘

森林の持つ癒し効果やストレス解消といったことが科学的に裏付けられ、地域振興に生かしていく取り組みが全国に広がっている。佐賀市でも、過疎計画の中で森林セラピストを養成する計画となっているが、どのように進めていくのか。

答弁 セラピストの人材発掘が進んでいない。一方、地元からは、地域の土壌づくりとしての交流活動から取り組んではこの提案もあった。そこで、人材発掘と並行して、山を訪れる方々との交流活動を通して認識を高めていただく計画を進



めている。まず、地元の地理や自然、森林の状況に詳しい方々に興味を持っていただくため、多くの事業等を実施されている県北山少年自然の家の取り組みと連携したい。来月上旬に講習会（講義と森林セラピーの体験）を行う予定である。
◆その他◆里親制度への理解と支援について

視察報告

自治基本条例調査特別委員会

視察者13名

中本、重田、山下伸、実松、川副、中山、亀井、山本、福島、田中、福井、池田、西岡

7月5日(木)

①東京都分寺市
自治基本条例の制定過程について

平成13年に「市民・議会・職員の協働」を選挙公約に掲げ、現市長が就任し、自治基本条例の策定を指示。平成14年から、市民と職員による条例化に向けた検討が始まる。

市民検討会は公募制とし、全36回開催。係長クラスによる職員検討会も全48回開催。その後、市民・職員合同検討会が43回開催されている。

平成19年6月議会に条例案が上程されてから、議会で特別委員会が設置され、上程された条例案の条文に

7月6日(金)

②埼玉県三郷市
自治基本条例策定後の取り組みについて

平成21年6月議会で可決成立後、平成21年11月に市民から見た条例の具体的な運用を考えるワークショップを開催。平成22年2月に、条例の内容と運用の考え方のPRを行うため「三郷学フォーラム」を開催している。

合併検証調査特別委員会

視察者12名

黒田、重松、山田、松永、野口、白倉、千綿、川原田、山口、江頭、平原、嘉村

7月5日(木)

①鹿児島県霧島市
支所のあり方の見直しについて

霧島市は平成17年11月7日に1市6町が合併して発足。組織機構再編計画により現行の総合支所・分庁方式から本庁方式への移行を進めている。旧町区域毎に設置されている総合支所は、各々の地域の実情と地域住民の利便性に配慮しながらも、業務を段階的に本庁へ集約し、市民生活に直

7月6日(金)

②山口県岩国市
「総合支所」・「支所」機能等の見直しについて



岩国市での視察の様子

岩国市は平成18年3月20日に1市6町1村が合併して発足。合併時、旧町村区域毎に総合支所を配置したが、各地域の人口分布、面積及び特性等を考慮しながら統合し、統合された地域には、証明書発行業務等を集約した支所の設置を検討する。21箇所ある出張所については業務の縮小・整理等を行い、公民館等の機能を主体とする体制への移行を検討する。